

# SUMMARY

No022120

先日のレポートでこのように述べました：

『ナンバーオペレーションに良い意味でハマった方にとってそれがもはや単なる金儲けの道具でないことが実感できると思います。お金以上の財産になりつつあると思います。もちろん、利益を上げることが目的にしています。「利益を上げること」という表現より「手持ちの数字を増やすこと」という表現に置き換えると良いでしょう。そうすることで、お金を追いかけるのではなく、数字をうまく扱うことが目的化しそのために多くの学習を楽しみとして受け入れ継続していけます。お金はそれに伴いついてきます。そして、誰もが成功者になれます。』

利益の数字に捉える  
→ いい感じ

ナンバーオペレーションは数字(数値/価値)の構造から収益を上げる事業です。先週のレポートは基礎の復習を兼ねて大事なポイントを解説しました。この部分はナンバーオペレーションの実践においては最も重要です。

コンバージョンはトライアングルとバリューチェーンを結ぶ“からくり”です。

良い結果を出していてもどこから収益が生み出されているか分からないという方は思いの外多いように感じられます。「トライアングルとバリューチェーンを結ぶ“からくり”」について今後も取り上げて解説します。

以下は今週のポイントです：

数字は全てつながっています。

## Structure

「構造」とは何か・・・これを掲げているには「数値を単独で見な！」というメッセージ(「警告」と受け止めてください。)です。

「構造」とは英語の”structure”(ストラクチャー)で”the arrangement of and relations between the parts or element of something complex”(「なにか複雑なものの部分や要素をまとめたものまたはそれらの関係」)を言います。

「数値」と「価値」の違いは、ナンバーオペレーションに関する限り、数字に色をつけて区別するといった程度の違いでしかありません。本質的には同じです。“本質的に”というところに深い意味があります。

ナンバーオペレーションに関する限り、「ストラクチャー」(カタカナを用いることにします。)は論理的なつながりであると理解してください。それが新しい価値(=利益)をもたらします。

忘れてならないのはそのような「ストラクチャーの中に「時間」の概念が含まれているということです。

バリューチェーン含まれているバリュー(価値)は上記の「構造」と関係しています。